

## 勤務医の負担軽減策について③

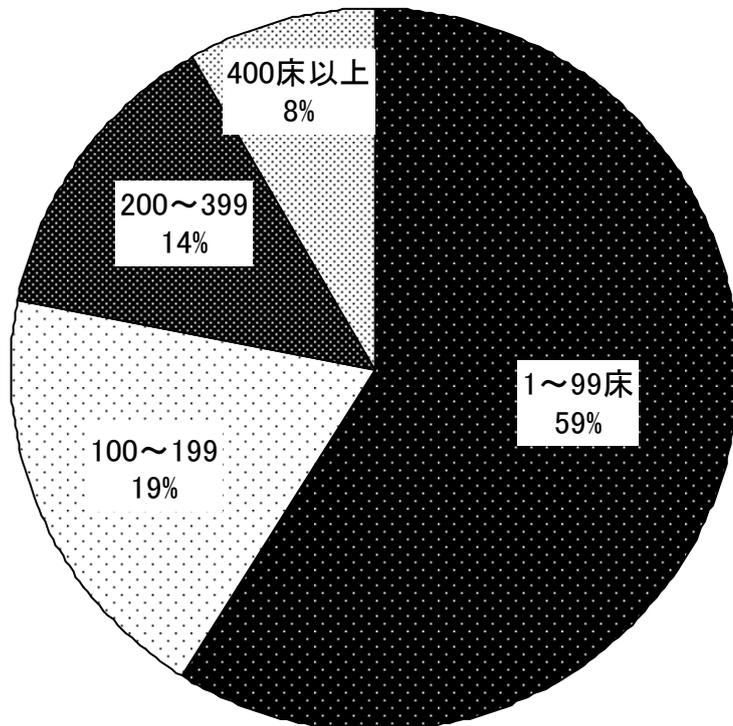
—入院時医学管理加算の見直しについて—

(参考資料)

図表 1 病床規模別の病院数の割合

400床以上の医療機関は、全医療機関の約8%（528施設）

一般病床を有する病院の一般病床規模別病院数



病床規模	病院数
1~99床	3,700
100~199	1,206
200~399	854
400床以上	528
全体	6,288

平成 17 年 医療施設調査

図表 2 全身麻酔件数及び手術件数の推移

一般病床を有する病院における全身麻酔件数及び手術件数は、共に増加傾向にある。

① 全身麻酔（静脈麻酔は除く）

平成 14 年                      平成 17 年  
148,543 → 167,744（12.9%増）

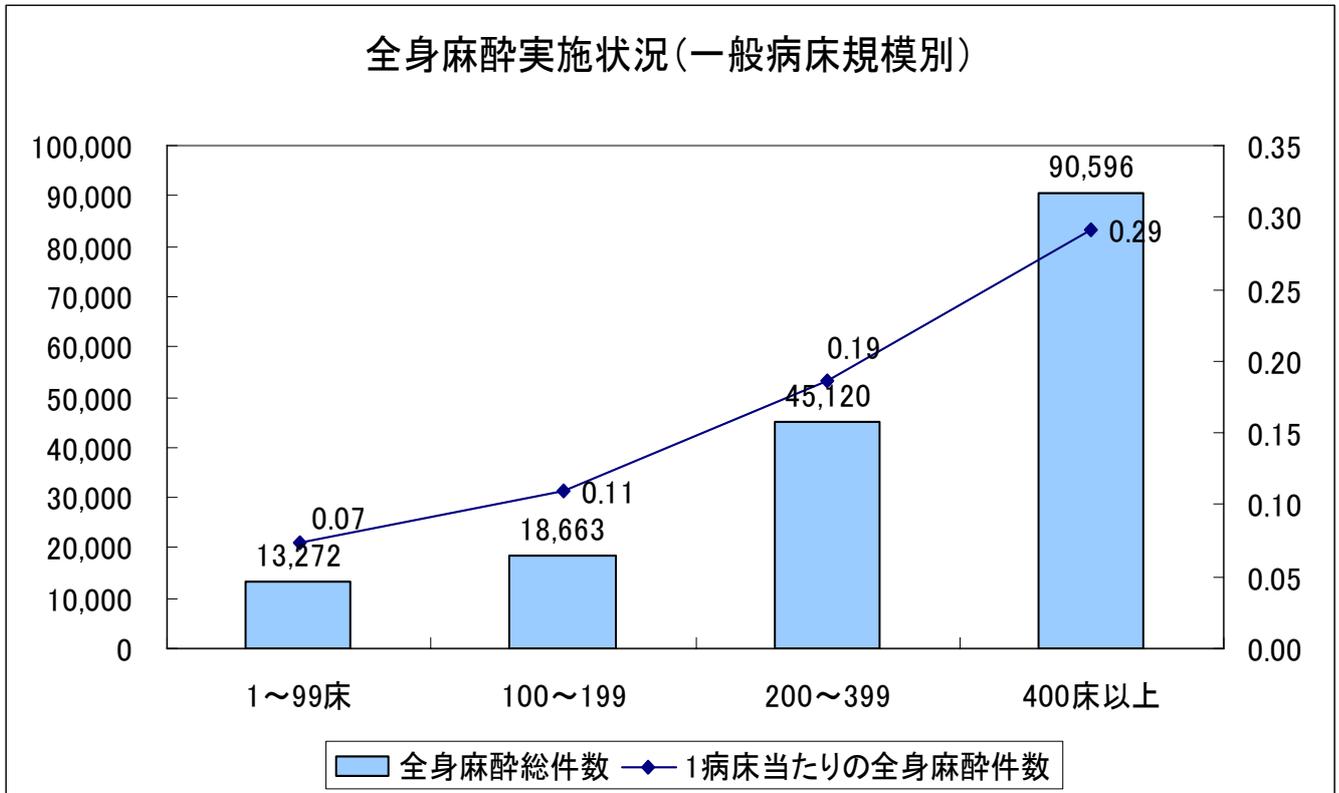
② 手術（開頭、人工心肺、悪性腫瘍）

平成 14 年                      平成 17 年  
40,998 → 46,721（14.0%増）

平成 14・17 年 医療施設調査

図表3 全身麻酔件数について

一般病床を有する病院では、一般病床規模に比例して、全身麻酔総件数及び1病床当たりの全身麻酔件数は増加傾向にある。



平成17年 医療施設調査

図表4 救急自動車による搬送人員の増加と軽症者の割合

救急自動車による搬送人員のうち軽症者の割合は約半数であり、10年間で軽症者数は、全搬送人数の増加に伴い約95万人の増加となっている。

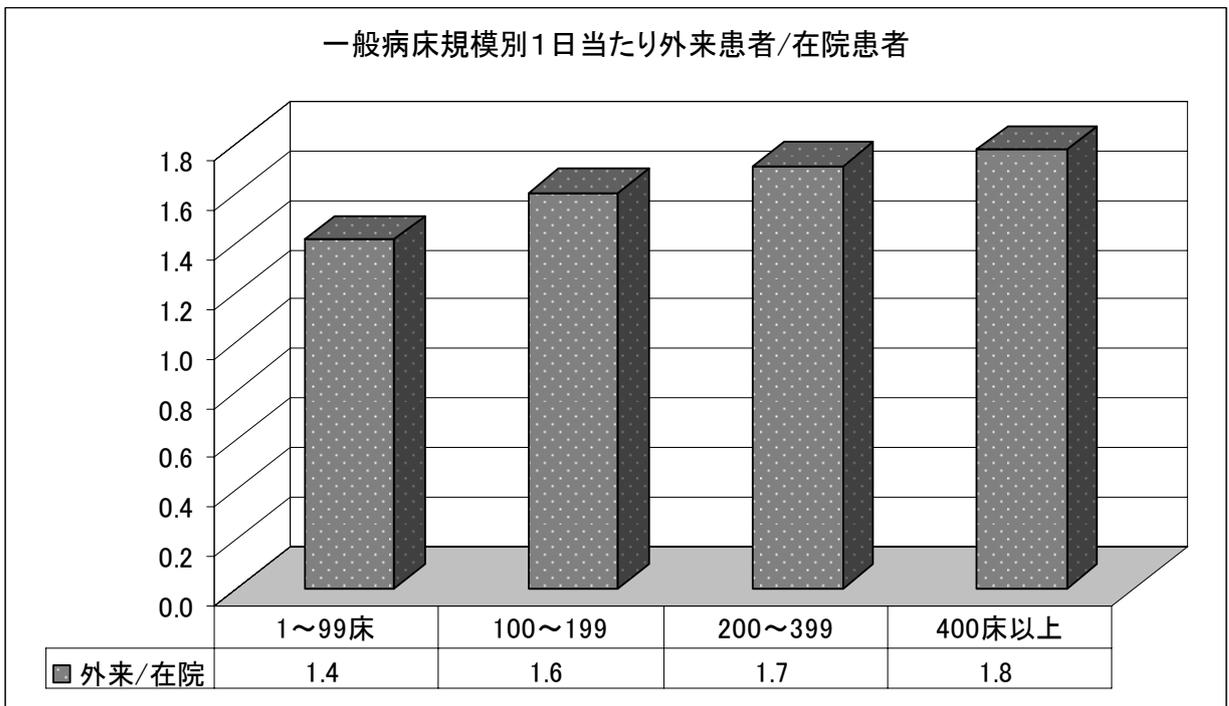
(軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。)

救急自動車による搬送	平成8年度	平成11年度	平成14年度	平成17年度
全搬送人員	3,247,129	3,761,119	4,331,917	4,958,363
軽症者の数	1,628,072	1,886,784	2,219,052	2,579,910
軽症者の割合	50.1%	50.2%	51.2%	52.1%

平成18年 救急救助の現況

図表5 病床規模別の外来患者／在院患者について

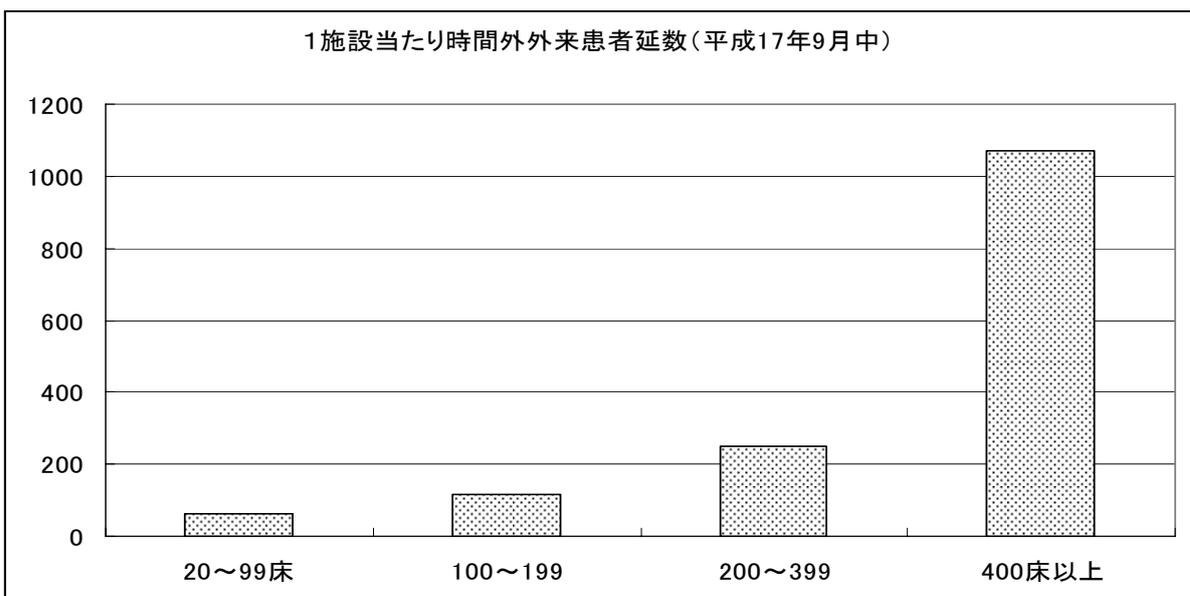
一般病床を有する病院では、一般病床規模に比例して、外来患者／在院患者が大きくなる。



平成17年 医療施設調査

図表6 時間外外来患者数の受け入れについて

一般病床を有する病院では、総病床規模に比例して、時間外外来患者を多く受け入れている。



平成17年 医療施設調査